

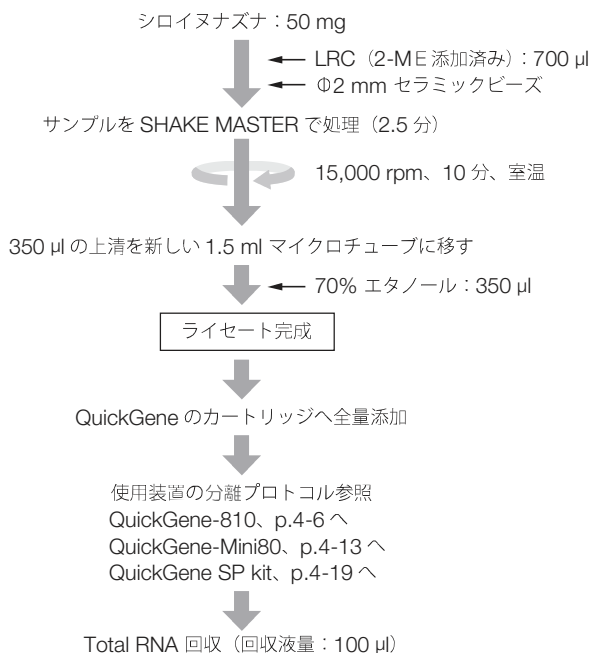
## 3-XII 章

### 植物組織からの total RNA分離

---

## シロイヌナズナからの total RNA分離

### プロトコル



### 結果

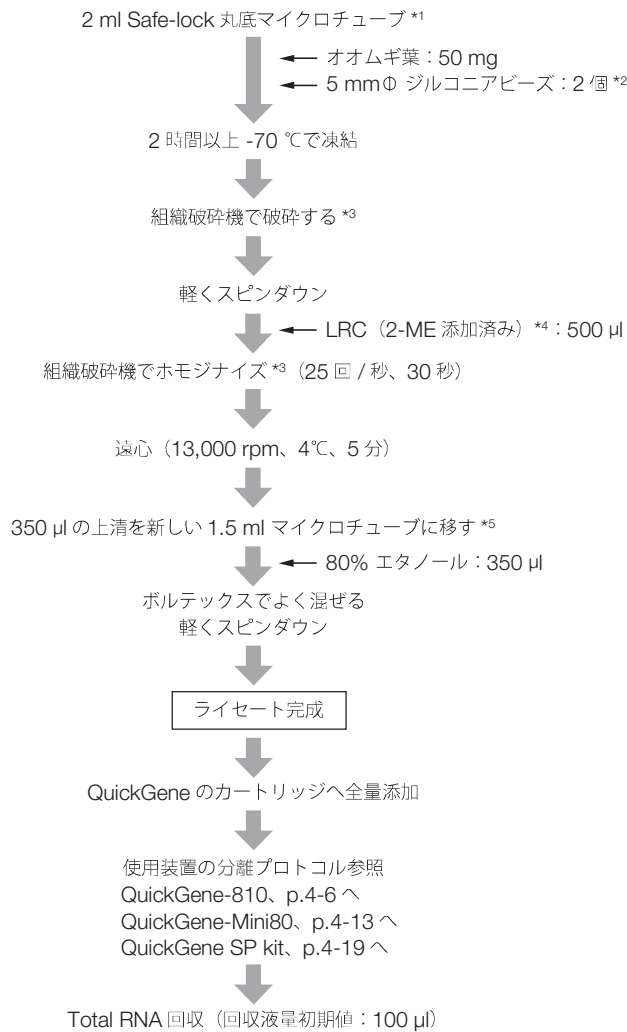
- 電気泳動図  
データなし
- Total RNA の収量  
データなし
- タンパク質の混入：A260/280  
データなし
- カオトロピック塩の混入：A260/230  
データなし
- その他  
データなし

### 共通プロトコルサンプル

データなし

## オオムギ葉からの total RNA分離

## ■ プロトコル



\*1 エッペンドルフ社 (Eppendorf Co.Ltd.)

\*2 ニッカト社 (NIKKATO Co.Ltd.)

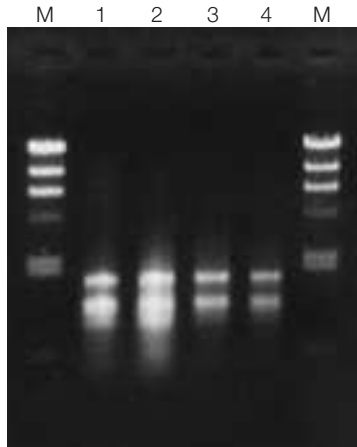
\*3 ティッシュライザー (Tissue-Lyser) (Mixer MIH 3000 (QIAGEN Co.Ltd.)) 組織破砕機のホルダーを、前もって -20°C に冷却してください。破砕法については、組織破砕機のマニュアルに従ってください。

\*4 1 ml の LRC 当たり 10 μl の 2-ME を加えてください。

\*5 繊維が多少混じっていても結果に影響はありません。

## 結果

### 電気泳動図



電気泳動条件  
0.8% アガロースゲル  
TAE  
2  $\mu$ l のサンプル / ウエル

M:  $\lambda$ -Hind III (100 ng)  
1: コムギ葉 (*gramineae*)  
2: オオムギ葉 (*gramineae*)  
3: *Chenopodium quinoa* 葉 (*Chenopodiaceae*)  
4: *Nicotiana benthamiana* 葉 (*solanaceae*)

### Total RNA の収量

オオムギ葉	12.2 $\mu$ g
-------	--------------

### タンパク質の混入：A260/280

オオムギ葉	2.12
-------	------

### カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

### その他

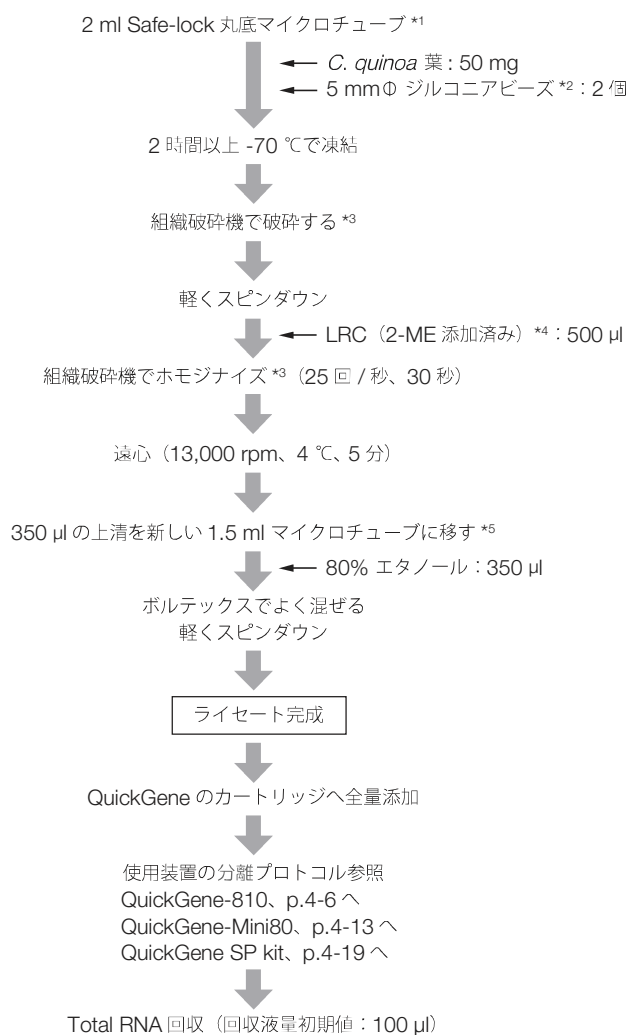
データなし

## 共通プロトコルサンプル

*N.benthamiana* 葉、*C. quinoa* 葉、コムギ葉

## キノア (キヌア、キンワ) 葉からの total RNA分離

## | プロトコル



\*1 エッペンドルフ社 (Eppendorf Co.,Ltd.)

\*2 ニッカトー社 (NIKKATO Co.,Ltd.)

\*3 ティッシュライザー (TissueLyzer) (Mixer MIH 3000 (QIAGEN Co.,Ltd.)) 組織破砕機のホルダーを、前もって -20°C に冷却してください。破砕法については、組織破砕機のマニュアルに従ってください。

\*4 1ml の LRC 当たり 10 μl の 2-ME を加えてください。

\*5 繊維が多少混じっていても結果に影響しません。

## 結果

### 電気泳動図



電気泳動条件  
0.8% アガロースゲル  
TAE  
2  $\mu$ l のサンプル / ウエル

M:  $\lambda$ -Hind III (100 ng)  
1: コムギ葉 (*gramineae*)  
2: オオムギ葉 (*gramineae*)  
3: *Chenopodium quinoa* 葉 (*Chenopodiaceae*)  
4: *Nicotiana benthamiana* 葉 (*solanaceae*)

### Total RNA の収量

<i>C. quinoa</i> 葉	3.88 $\mu$ g
--------------------	--------------

### タンパク質の混入：A260/280

<i>C. quinoa</i> 葉	2.02
--------------------	------

### カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

### その他

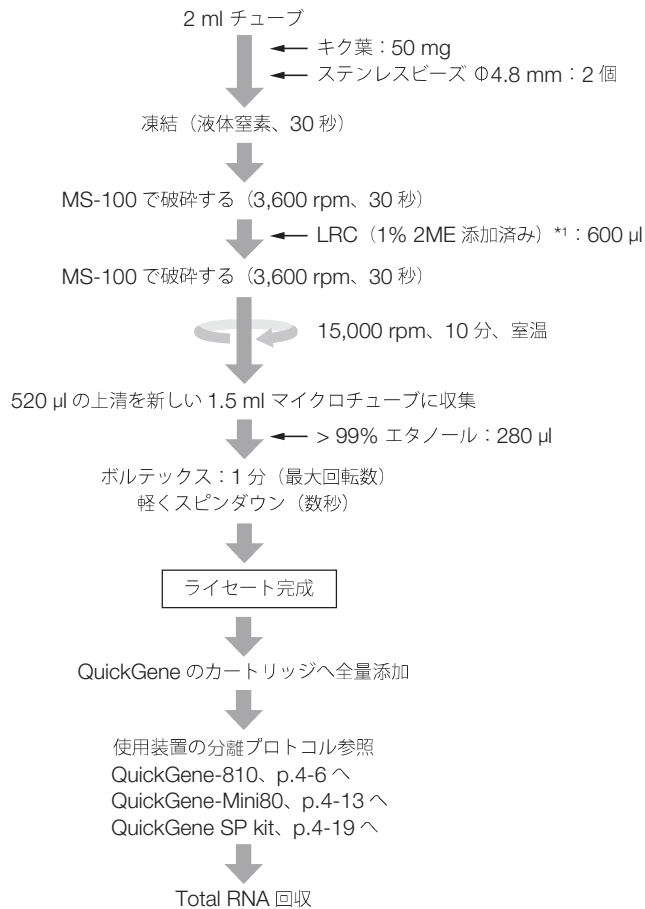
データなし

## 共通プロトコルサンプル

*N. benthamiana* 葉、オオムギ葉、コムギ葉

## キク（菊）からの total RNA分離

## ■ プロトコル



\*1 1 ml の LRC 当たり 10 μl の 2-ME を加える。

## ■ 結果

## ■ 電気泳動図

データなし

## ■ Total RNA の収量

データなし

## ■ タンパク質の混入：A260/280

データなし

## ■ カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

## ■ その他

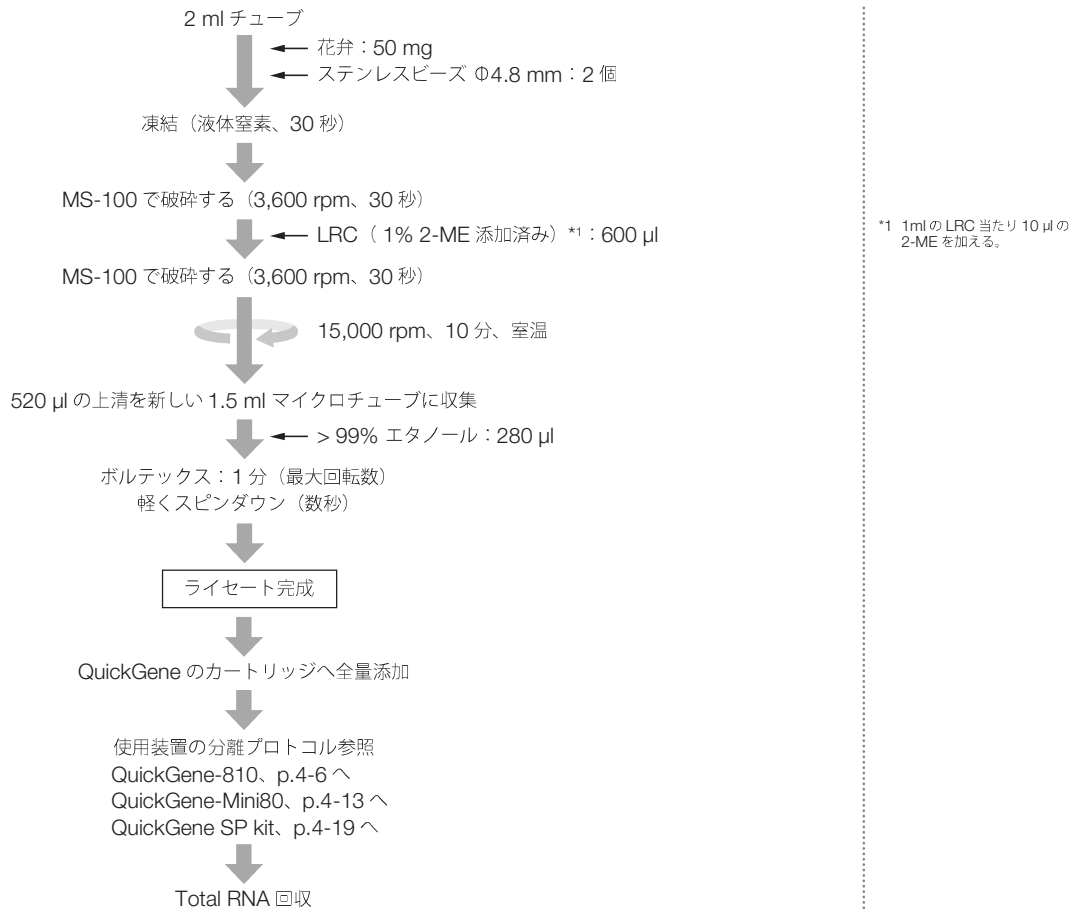
データなし

## ■ 共通プロトコルサンプル

データなし

## 花卉からの total RNA分離

### プロトコル



### 結果

- 電気泳動図  
データなし
- Total RNA の収量  
データなし
- タンパク質の混入：A260/280  
データなし
- カオトロピック塩の混入：A260/230  
データなし
- その他  
データなし

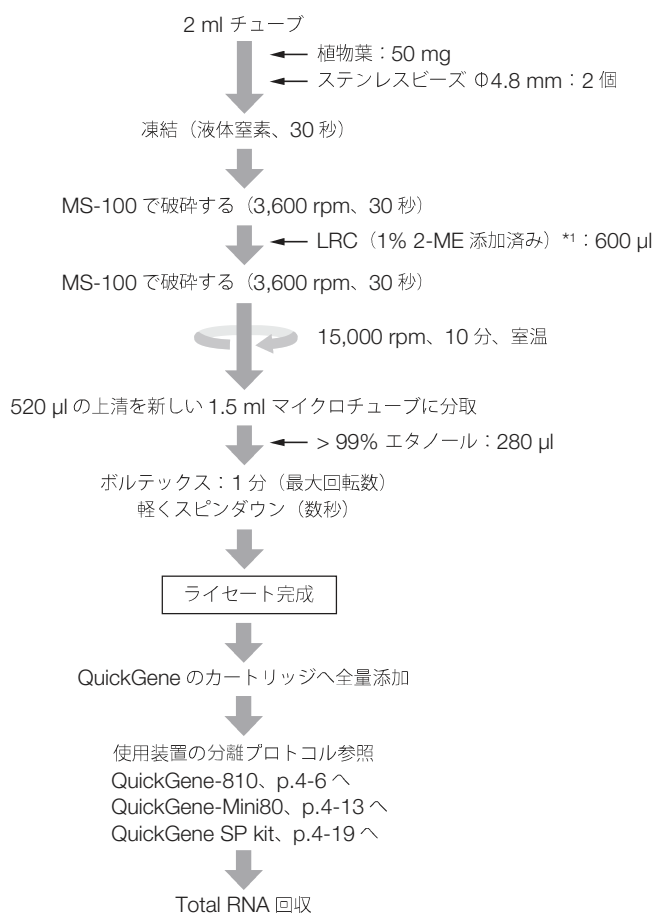
### 共通プロトコルサンプル

データなし



## 植物からの total RNA分離

## プロトコル



\*1 1 ml の LRC 当たり 10 µl の 2-ME を加える。

## 結果

## ■ 電気泳動図

データなし

## ■ Total RNA の収量

データなし

## ■ タンパク質の混入：A260/280

データなし

## ■ カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

## ■ その他

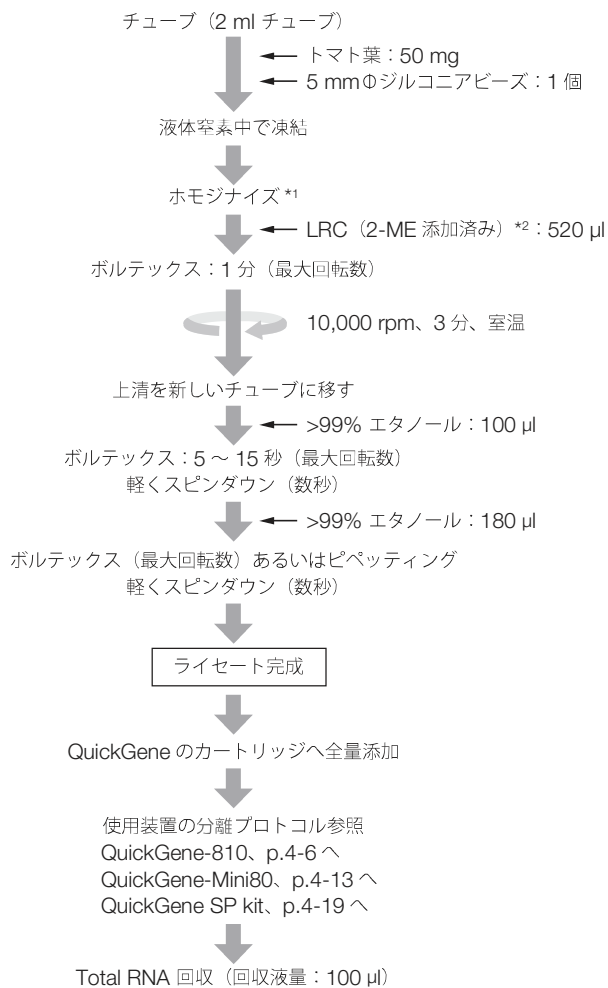
データなし

## 共通プロトコルサンプル

データなし

# トマト葉からの total RNA分離

## プロトコル



\*1 ホモジナイザー (MS-100) :  
トミー精工 (株) 製品  
ビーズ :  
ジルコニア /5mmΦ、  
1 個 (Cat.No.ZB-50)  
チューブ :  
2ml チューブ (Cat.No.72893)  
ホモジナイズ条件 :  
2,500 rpm、10 秒あるいは  
3,000 rpm、10 秒

\*2 1ml の LRC 当たり 10 µl の  
2-ME を加える。

## 結果

### 電気泳動図

データなし

### Total RNA の収量

トマト葉の量	収量 (µg)	平均収量 (µg)
25 mg	6.3	5.3
	4.2	
50 mg	9.2	7.8
	6.2	
	8.0	

## ■ タンパク質の混入：A260/280

トマト葉の量	A260/280	A260/280 の平均値
25 mg	2.03	2.02
	2.02	
50 mg	2.01	2.00
	2.00	
	1.99	

## ■ カオトロピック塩の混入：A260/230

トマト葉の量	A260/230	A260/230 の平均値
25 mg	1.55	1.54
	1.62	
50 mg	1.62	1.65
	1.66	
	1.66	

## ■ その他

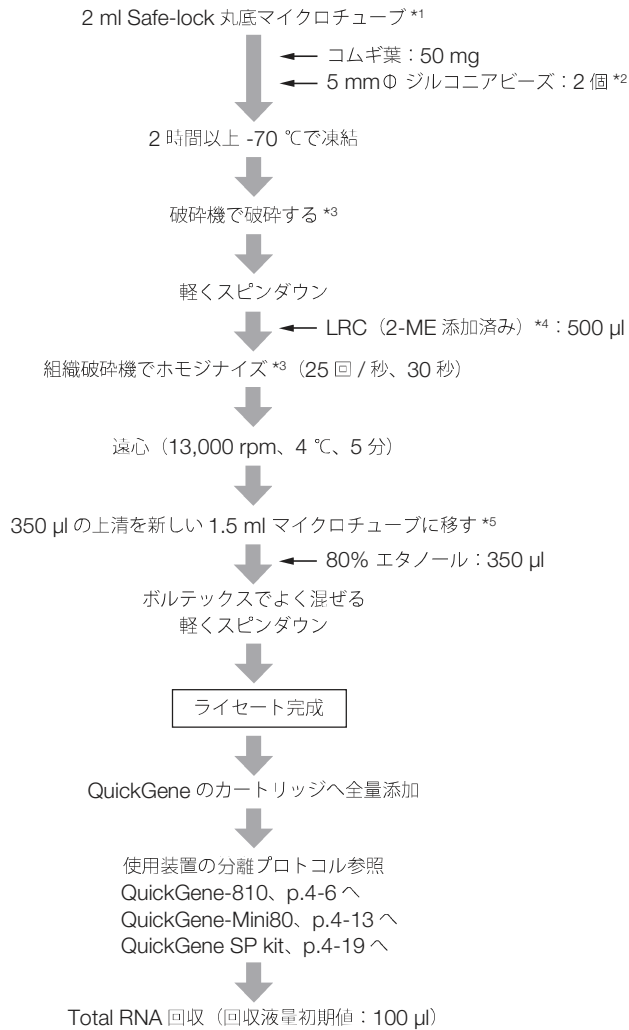
データなし

## ■ 共通プロトコルサンプル

データなし

# コムギ（小麦）からの total RNA分離

## プロトコル



\*1 エッペンドルフ社 (Eppendorf Co.Ltd.)

\*2 ニッカトー社 (NIKKATO Co.Ltd.)

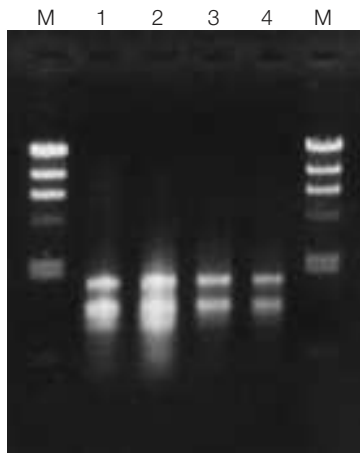
\*3 ティッシュライザー (Tissue-Lyser) (Mixer MIH 3000 (QIAGEN Co.Ltd.)) 組織破砕機のホルダーを、前もって -20°C に冷却してください。破碎法については、組織破砕機のマニュアルに従ってください。

\*4 1 ml の LRC 当たり 10 µl の 2-ME を加えてください。

\*5 繊維がいくらか混じっていても結果に影響はありません。

## 結果

### 電気泳動図



電気泳動条件  
0.8% アガロースゲル  
TAE  
2  $\mu$ l のサンプル / ウエル

M :  $\lambda$ -Hind III (100 ng)  
1 : コムギ葉 (*gramineae*)  
2 : オオムギ葉 (*gramineae*)  
3 : *Chenopodium quinoa* 葉 (*Chenopodiaceae*)  
4 : *Nicotiana benthamiana* 葉 (*solanaceae*)

### Total RNA の収量

コムギ葉	6.12 $\mu$ g
------	--------------

### タンパク質の混入 : A260/280

コムギ葉	2.11
------	------

### カオトロピック塩の混入 : A260/230

データなし

### その他

データなし

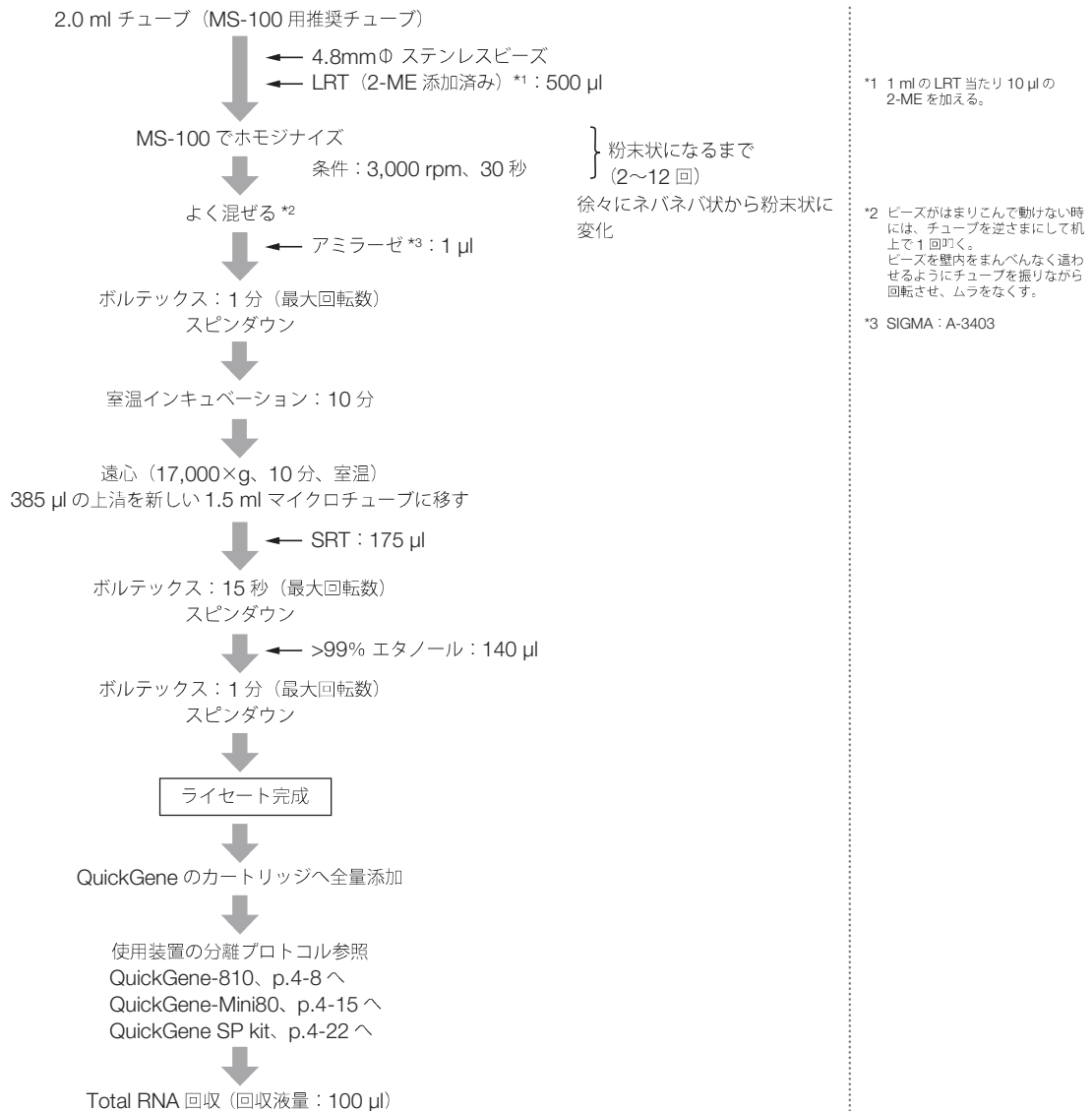
## 共通プロトコルサンプル

*N.benthamiana* 葉、オオムギ葉、*C. quinoa* 葉

RB-9

# アマランサスの種からの total RNA分離

## プロトコル



## 結果

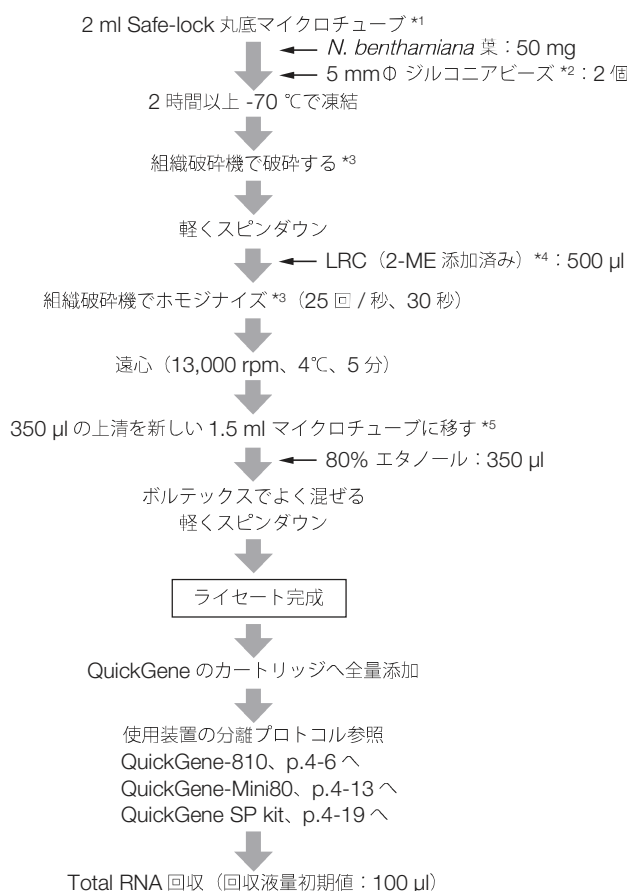
- 電気泳動図  
データなし
- Total RNA の収量  
データなし
- タンパク質の混入 : A260/280  
データなし
- カオトロピック塩の混入 : A260/230  
データなし
- その他  
データなし

## 共通プロトコルサンプル

データなし

タバコ (*N.benthamiana*) 葉からの total RNA分離

## ■ プロトコル



\*1 エッペンドルフ社 (Eppendorf Co.,Ltd.)

\*2 ニッカト社 (NIKKATO Co.,Ltd.)

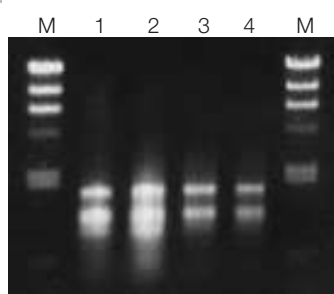
\*3 ティッシュライザー (Tissue-Lyser) (Mixer MIH 3000 (QIAGEN Co.,Ltd.)) 組織破砕機のホルダーを、前もって -20°C に冷却してください。破碎法については、組織破砕機のマニュアルに従ってください。

\*4 1 ml の LRC 当たり 10 μl の 2-ME を加えてください。

\*5 繊維がいくら混じっていても結果に影響はありません。

## ■ 結果

## ■ 電気泳動図



電気泳動条件  
 0.8% アガロースゲル  
 TAE 緩衝液  
 2 μl のサンプル / ウエル

M : λ-*Hind* III (100 ng)  
 1 : コムギ葉 (*gramineae*)  
 2 : オオムギ葉 (*gramineae*)  
 3 : *Chenopodium quinoa* 葉 (*Chenopodiaceae*)  
 4 : *Nicotiana benthamiana* 葉 (*solanaceae*)

## ■ Total RNA の収量

<i>N. benthamiana</i> 葉	2.64 μg
-------------------------	---------

## ■ タンパク質の混入 : A260/280

<i>N. benthamiana</i> 葉	1.95
-------------------------	------

## ■ カオトロピック塩の混入 : A260/230

データなし

## ■ その他

データなし

## ■ 共通プロトコルサンプル

オオムギ葉、*C. quinoa* 葉、コムギ葉

